

## 外科臨床研修プログラム（1年次：3ヶ月間）

### I. 一般目標

一般消化器外科疾患に関する診断学の基本的概念を把握し、外科治療に必要な検査計画及び治療計画を立てることができるようにする。また、初期医療における外科的応急処置や基本的な外科処置とともに、患者に対する態度も身につける。また、指導医のもと簡単な手術を行い、手術技術を習得する。

### II. 研修施設と研修指導責任者・指導医

1) 研修施設 医療法人社団誠馨会 新東京病院

2) 研修指導責任者・指導医 伊藤 英人（イトウ ヒデト）

#### 外科研修予定表

	時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	内・外科カフアルタ	病棟回診
		外来・手術	外来・手術	外来・手術	内視鏡・手術	外来・手術	外来
午後	13:00~17:00	手術	手術・ 病棟カフアルタ	手術	内視鏡・ 手術	手術	

※ 緊急な手術・処置・検査等で変更が生ずる場合もある。

### III. 行動目標および評価項目

評価記載 A：到達目標に達した

B：目標に近い

C：目標に遠い

#### 1. 基本目標

1) 腹部臓器、乳腺、腹壁の解剖・生理の習得。

自己評価

指導医評価

A B C

A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

2) 患者の病歴・身体的所見を正確に把握できる。

・病歴の聴取と記載

A B C

A B C

・全身状態と局所所見の把握

A B C

A B C

・鑑別診断を述べられる

A B C

A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

3) 手術に対する検査計画の立案と検査結果の判定ができる。

- ・血液生化学検査、肝機能、腎機能、心肺機能
- ・放射線検査（X線検査、CT、MRI など）
- ・内視鏡検査の手技の理解と読影
- ・超音波検査の手技の理解と読影

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

4) 患者の治療計画をたてることができる。

- ・手術の適応の判断ができる
- ・術式の選択が的確にできる

A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

5) 外科の基本手技を身につける

- ・創処置、滅菌消毒、局所麻酔
- ・結紮、切開、縫合、止血
- ・胃管挿入、導尿

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

6) 外科的救急処置を身につける

- ・気道の確保、気管内挿管
- ・血管の確保、中心静脈カテーテル挿入
- ・患者の病状把握、バイタルサイン

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

7) 患者の検査に参加する

- ・X線検査、内視鏡検査、超音波検査

A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

8) 患者の処置・治療・手術に参加する。

A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

9) 術後管理を指導医のもと行う。

- ・バイタルサイン
- ・輸液療法
- ・包交

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

10) 外科医としての心構えを学ぶ

A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

11) 患者や家族への対応や心配りを学ぶ

A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

2. 基本的な処置・手術・検査等の治療法を選択・解釈し、実施能力を身につける。

1) 外来での創傷処置や小外科手術を指導医のもとで行うことができる。

- ・創傷処置、皮膚縫合
- ・皮膚良性腫瘍摘出、乳腺腫瘍生検
- ・膿瘍の切開排膿

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

2) 一般消化器外科に必要な検査を行うことができる。

- ・消化管造影
- ・消化管内視鏡
- ・超音波検査
- ・肛門診、肛門鏡

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

3) 病棟での処置を行うことができる。(やや難易度の高い処置)

- ・イレウス管挿入
- ・腹腔穿刺、胸腔穿刺
- ・S-B管挿入

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_

4) 指導医のもと比較的簡単な手術を行うことができる。

- ・そけいヘルニア根治術
- ・虫垂切除術
- ・痔核根治術

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン

---

5) 助手として手術に参加し、手術手技を理解し、その技術を習得する。

A B C    A B C

指導医サイン

---

6) 症例検討会で症例提示を行い、症例の要約を簡潔に述べ問題点を指摘できる。

A B C    A B C

指導医サイン

---

7) 術前術後管理を指導医とともに行う。

- ・術前処置
- ・ドレーンの管理
- ・経口摂取の時期
- ・輸液、高カロリー輸液の管理
- ・レスピレーターによる呼吸管理
- ・異常事態の発見と対処

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン

---

8) 手術摘出標本の取り扱いができる。

- ・摘出標本の所見
- ・リンパ節の摘出の仕方
- ・スケッチ
- ・固定方法

A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C  
A B C    A B C

指導医サイン

---

9) 患者や家族への接し方を学ぶ。

- ・インフォームドコンセントを理解し、実施することができる。

A B C A B C

指導医サイン \_\_\_\_\_